

都心の回遊性向上に向けた交通環境の検討状況について

これまでの検討経過

背景・目的

- 仙台駅周辺では、東西自由通路の拡幅や商業施設立地などにより、人の流れが集中
- 勾当台・定禅寺通周辺等では、回遊性向上を図るため、シンボルロードを中心とした賑わい創出に向けた取組みが展開
⇒ 各種取組みと相互に連携し、面的な賑わい創出につなげるための交通環境の整備を検討

令和5年度

- 7月: 関係課による検討会(庁内検討会)スタート
賑わい施策に係る各課の取組み内容を共有
- 9月: 仙台市交通政策推進協議会
検討体制、検討範囲等を説明

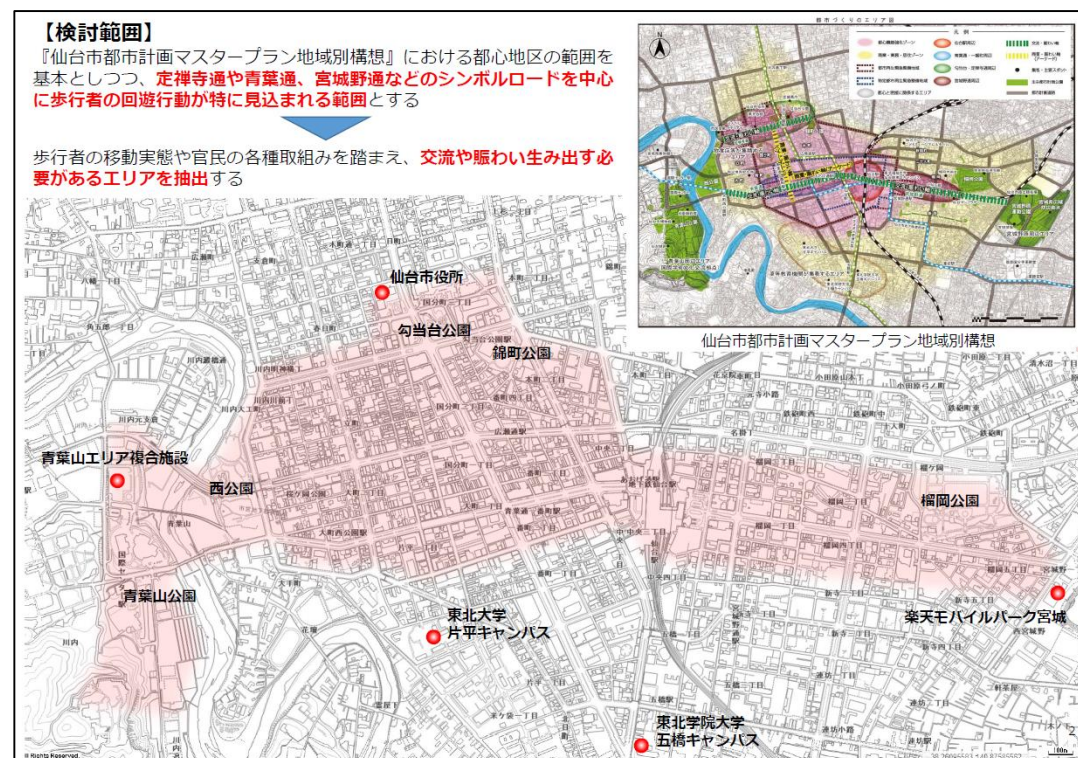
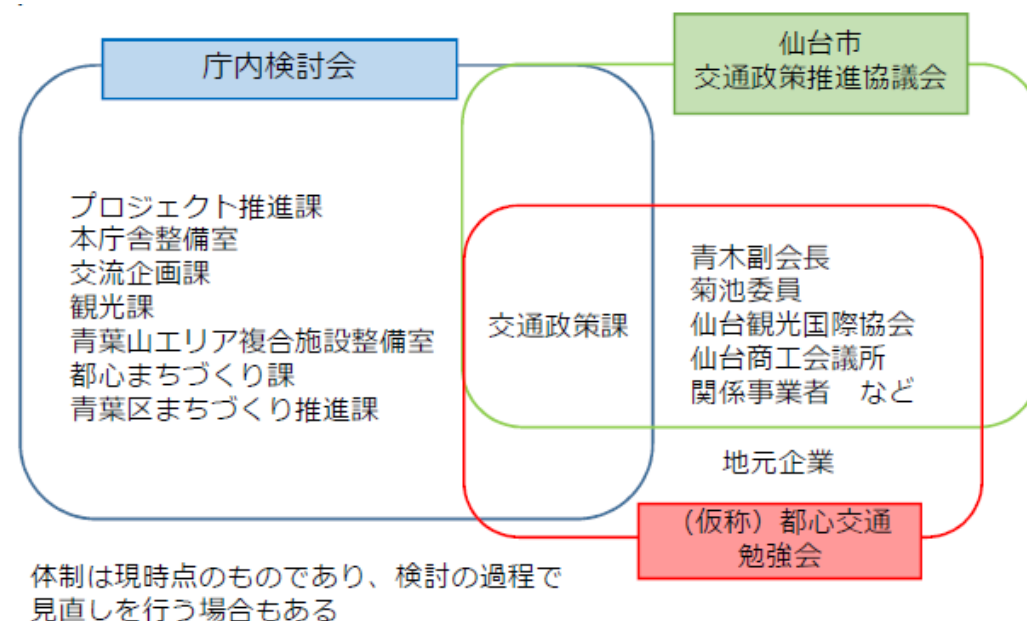
- 10月: 庁内検討会(第2回)
主要エリアの回遊ルート、ターゲットを設定

- 12月: 第1回都心交通勉強会
⇒ 回遊ルート、ターゲットを設定する進め方を見直し

- 2月: 庁内検討会(第3回)
 - ・ 賑わい施策と交通施策の関わりを整理
 - ・ 検討エリアの絞り込み

令和6年度

- 7月: 第2回都心交通勉強会



令和5年9月 仙台市交通政策推進協議会資料より

これまでの検討経過

令和5年度

- 7月:関係課による検討会(庁内検討会)スタート
賑わい施策に係る各課の取り組み内容を共有
- 9月:仙台市交通政策推進協議会
検討体制、検討範囲等を説明

10月:庁内検討会(第2回)
主要エリアの回遊ルート、ターゲットを設定

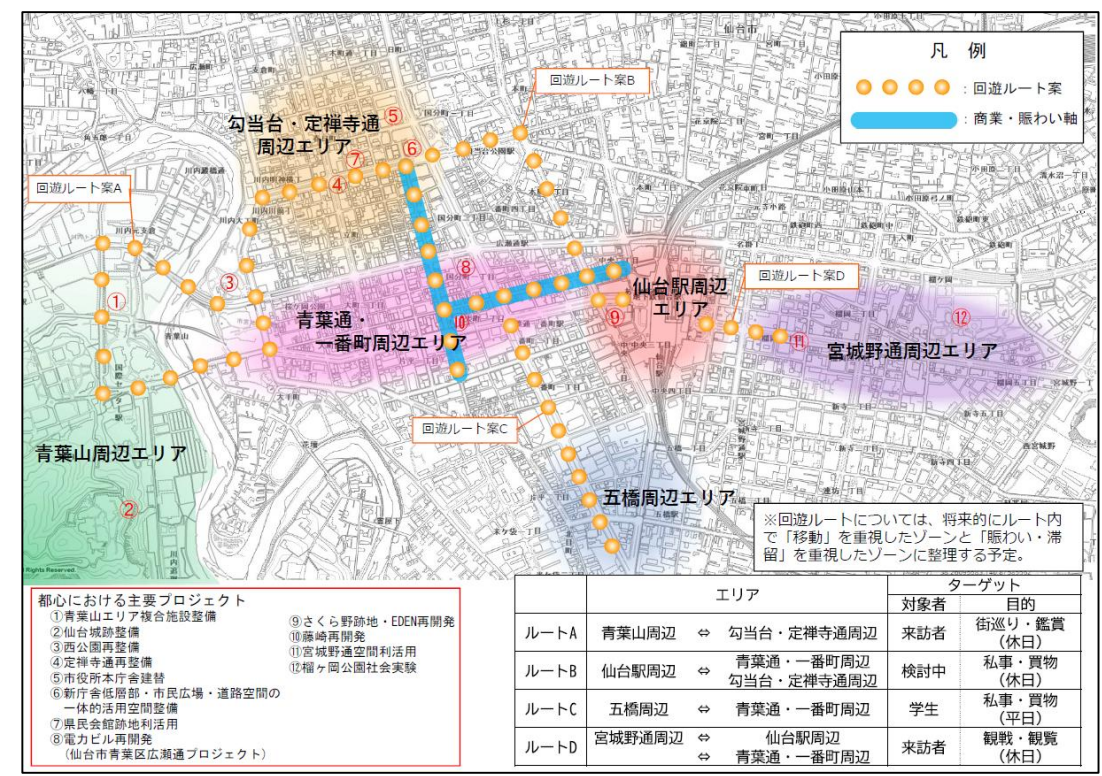
12月:第1回都心交通勉強会
⇒回遊ルート、ターゲットを設定する進め方を見直し

- 2月:庁内検討会(第3回)
 - ・賑わい施策と交通施策の関わりを整理
 - ・検討エリアの絞り込み

令和6年度

7月:第2回都心交通勉強会

- 核となるエリアの設定
 - ◎都市計画マスタープラン地域別構想「都心地区」に定めるエリア
都心地区における今後の都市づくりの方向性
〈今後の都市づくりのポイント〉を踏まえて選定
青葉山周辺エリア、仙台駅周辺エリア、
青葉通・一番町周辺エリア、勾当台・定禅寺通周辺エリア、
宮城野通周辺エリア、五橋周辺エリア



令和5年10月 庁内検討会資料より

第1回勉強会での主な意見

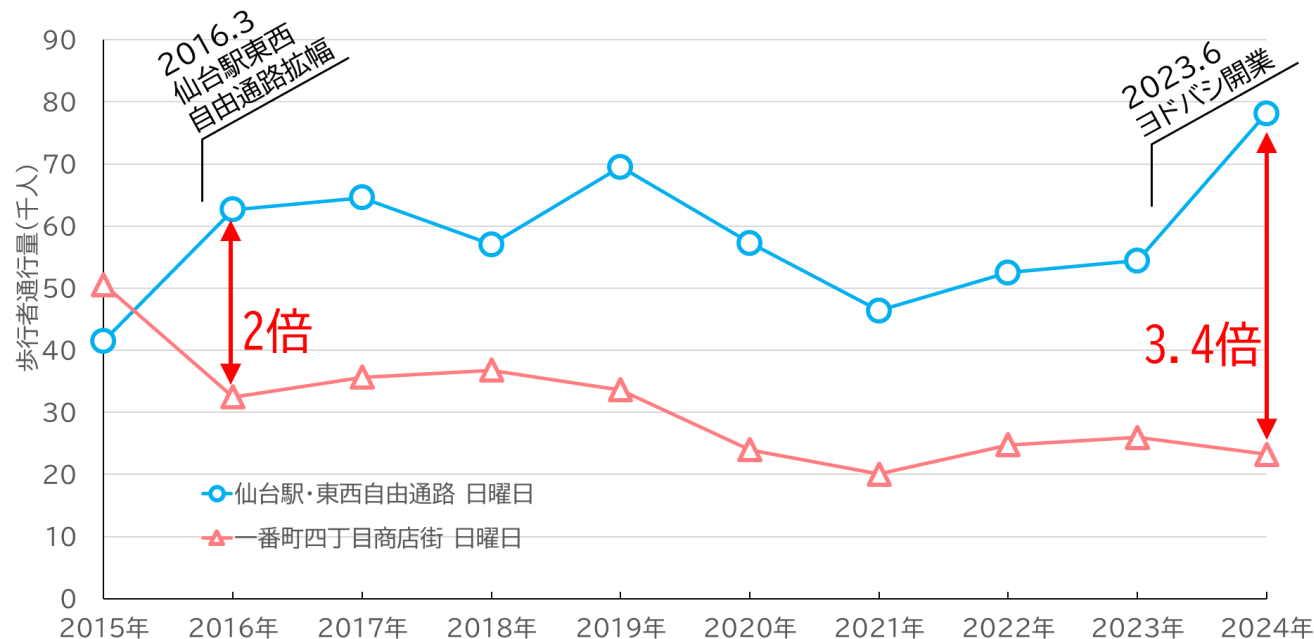
- ・来訪者の活動がそこで全て完結していれば、交通施策を打っても回遊しない。
- ・地域の魅力づくりから始めるべき。
- ・まずは一番町がしっかりしていないと人は集まらない。



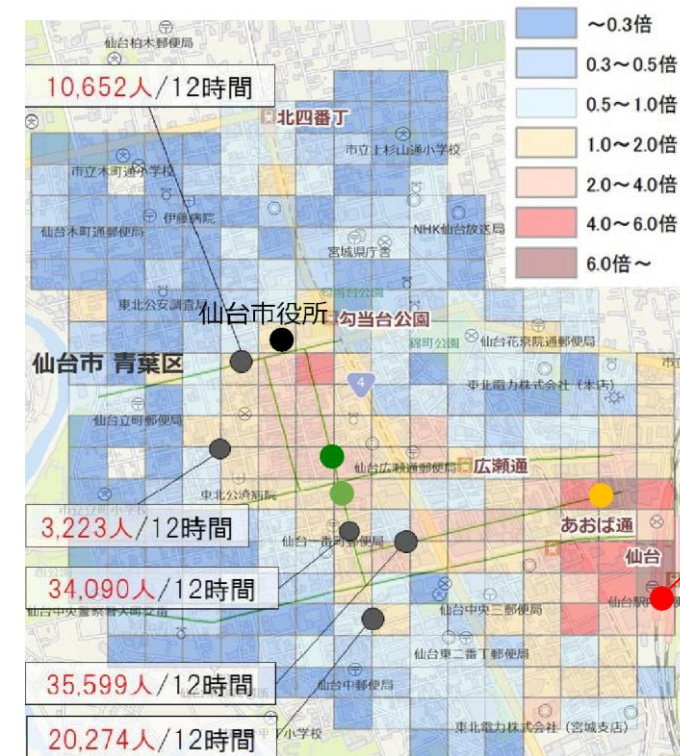
人を呼び込む賑わい施策を中心に考え、それらを結び付ける環境を整備する手法を検討

都心を取り巻く現状

● **歩行者**：東西自由通路の供用や仙台駅前での民間開発等により、人の流れが**仙台駅周辺に一極集中**

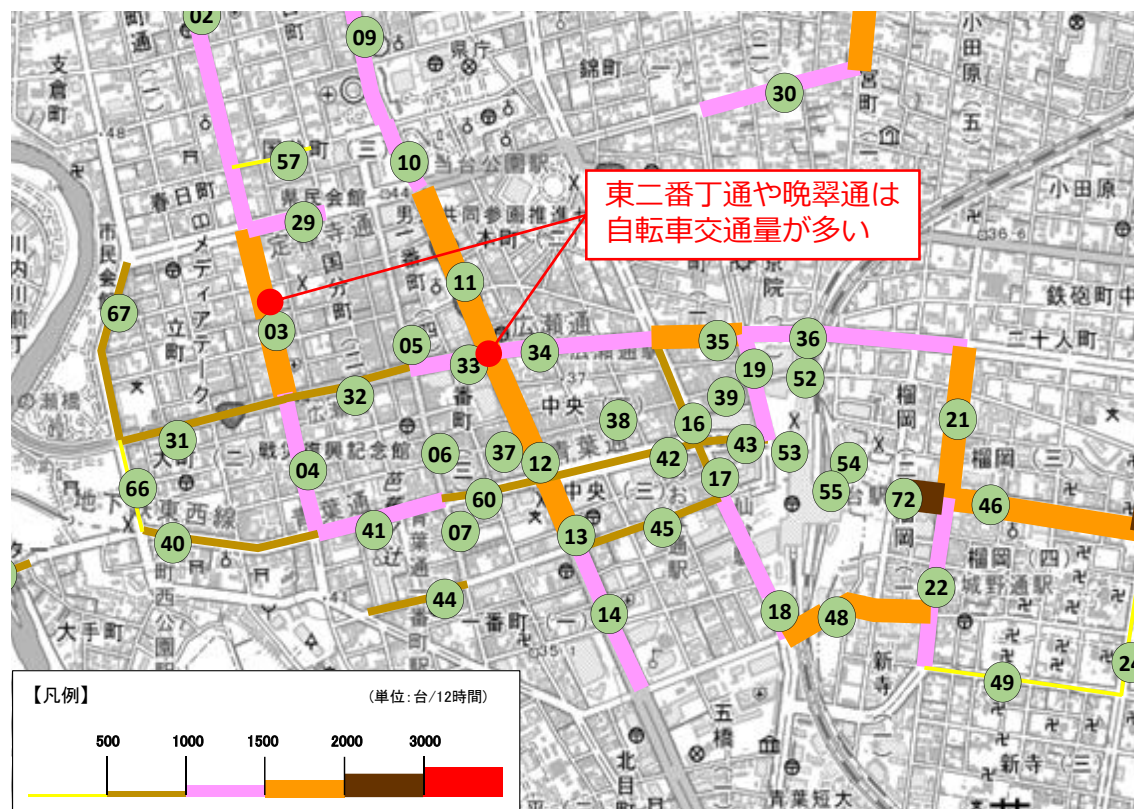


仙台商工会議所仙台市中心部商店街通行量調査を基に作成



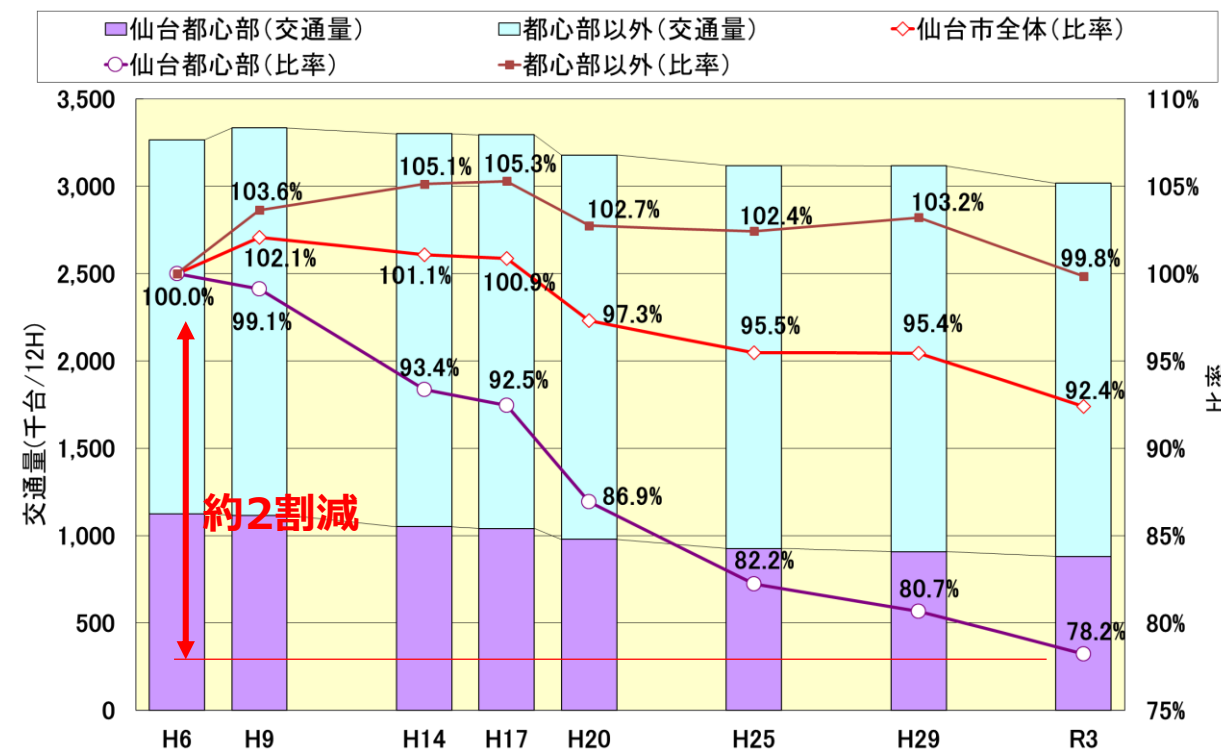
2017年9月 歩行者滞在状況 (まちづくり政策局資料より)

● **自転車**：南北方向の幹線道路で交通量が多い



令和3年度仙台市道路交通等現況調査(自転車交通量)

● **自動車**：都心の交差点交通量は計測当初から**約2割減**



交差点交通量の推移



⑧ 都心創生プロジェクト

目標 人が集い、新しいチャレンジが生まれる都心をつくる

仙台の都心は、多くの人々が集まる交流の要所であり、絶えず人を惹きつける、魅力あふれる場所であることが求められます。そのため、都心の開発を推進し、ビジネスや交流の基盤を整備することで、意欲のある方々が集い、新しいチャレンジが生まれる環境を整えます。さらに、多様な主体の連携を通じて、様々なコンテンツをつくることで、回遊性が高く、働く場、楽しむ場として魅力的な都心をつくりたい。

実施の方向性

01 投資を呼び込むまちをつくる

- 老朽建築物の建て替えや高水準な機能を備えるオフィスの整備を推進し、本社機能、研究開発拠点やICT関連企業等が集積することで、国際競争力のあるビジネス環境をつくりたい。
- 都市公園や道路などの公共空間、民間の遊休不動産^{※1}などの既存ストック^{※2}の新たな利活用を通じたまちのリノベーション^{※3}を推進することで、エリア価値の向上を図りたい。

02 イノベーションが生まれる都心をつくる

- 企業、起業家、教育機関などが集まり、新たな事業の創造を応援する文化・コミュニティをつくることで、スタートアップ・エコシステム^{※4}を育てたい。
- 産学官金それぞれの持つ技術やノウハウを活かしながら、地域産業の強みや課題を新たな価値の創造につなげるイノベーションを創出したい。

03 まちの回遊性を向上する

- 市役所本庁舎の建て替え・勾当台公園の再整備・音楽ホールの整備検討など、多くの人々が集い、交流が生まれる魅力的な市街地の環境をつくるとともに、地域ごとの特性を活かした魅力的なコンテンツをつくりたい。
- 居心地が良く、歩いて巡りたくなる空間づくりやテクノロジーの活用による回遊環境の向上を図るほか、中心部商店街の活性化などにより、都心全体に賑わいが広がる環境をつくりたい。

せんだい都市交通プラン



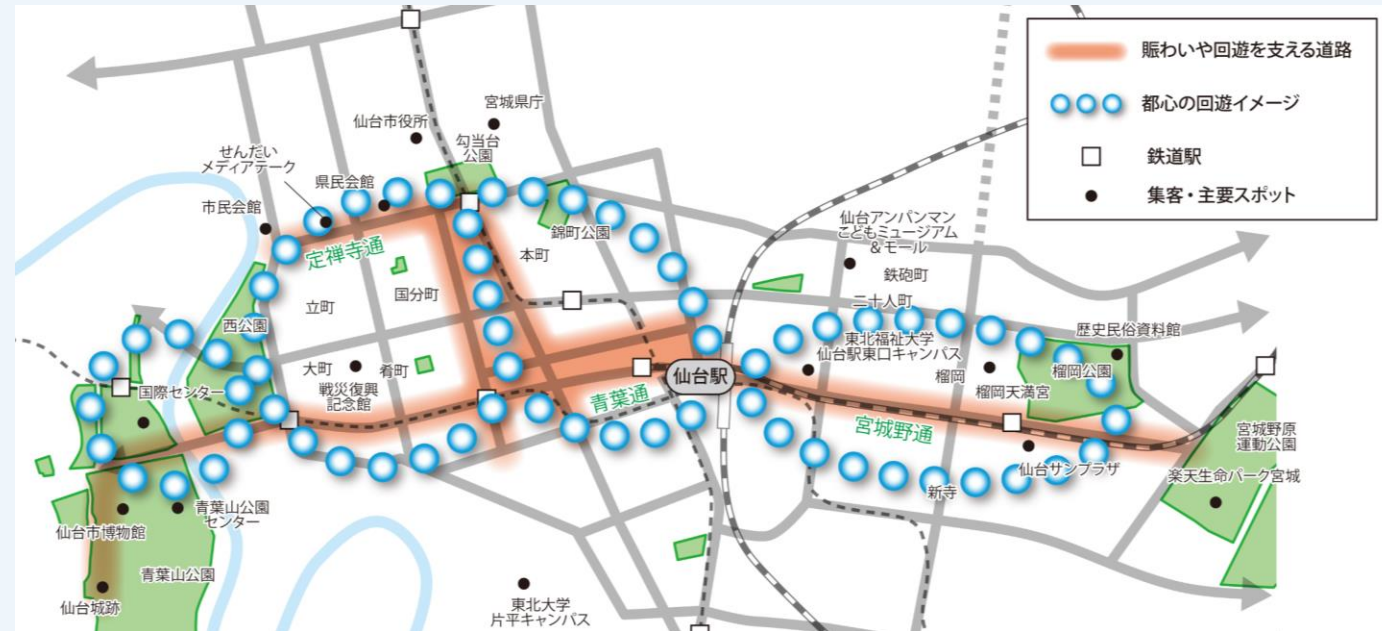
せんだい
都市交通
プラン

令和3年3月
仙台市

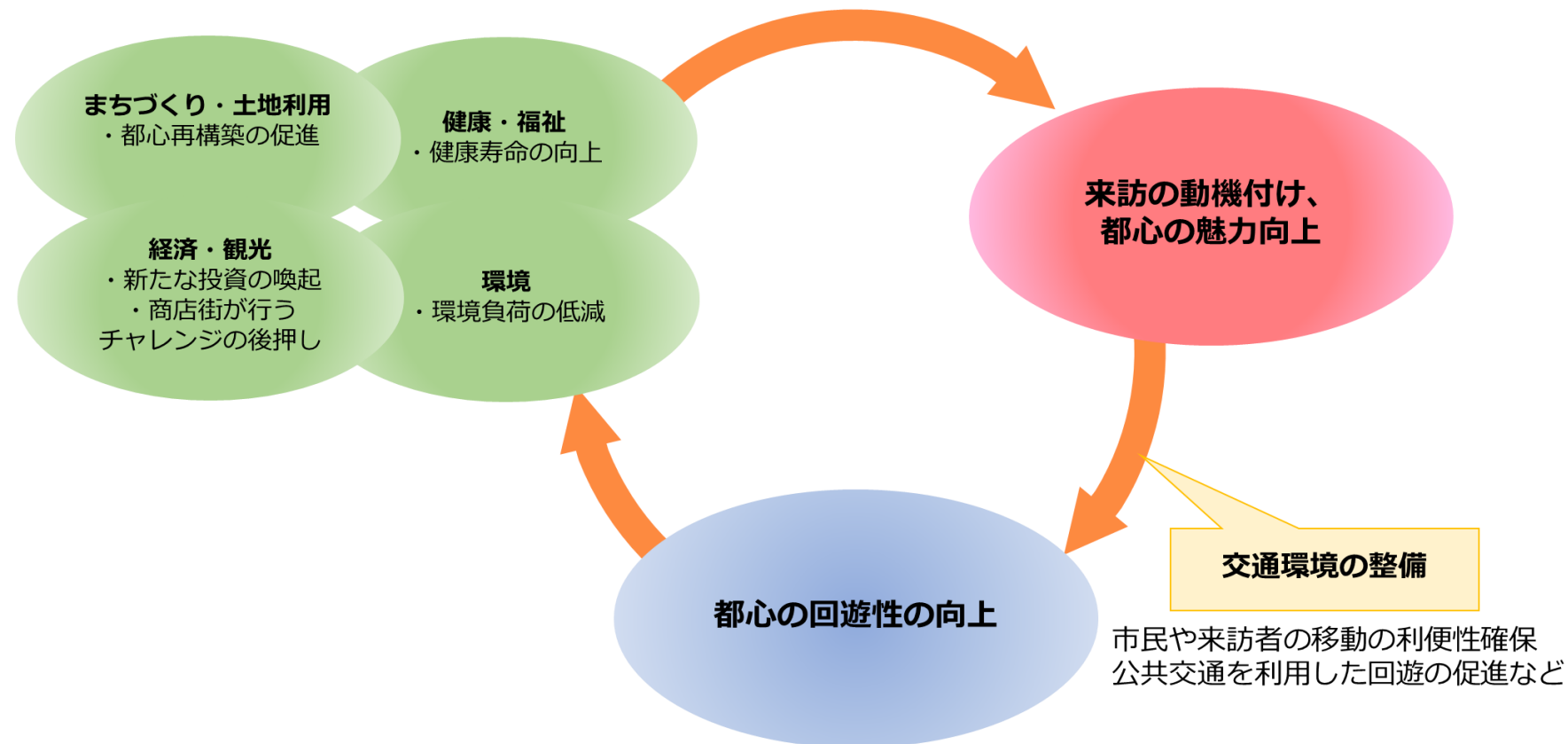
令和3年3月策定

- ・ 仙台市の交通政策の指針
- ・ 計画期間：
令和3年度（2021年度）
～令和12年度（2030年度）
- ・ 交通の将来目標と目標の実現に向けた25の施策を記載
- ・ 施策13「賑わいや回遊性向上に資する道路空間の創出」において**賑わいや回遊を支える道路のイメージ**を記載

賑わいや回遊を支える道路のイメージ



回遊性の向上は都心にさまざまな効果をもたらす



取組みに関する雰囲気づくり

- ・ 都心を何とかするというメッセージ（キャッチフレーズのようなもの）を発信していくことが大事。
- ・ 交通の面だけではなく、一体となって話し合っていないと楽しそうな雰囲気は伝わってこない。

回遊性全般・エリア設定

- ・ 回遊を促進することと来訪者を増やすことは別々に考えた方がよい。
- ・ 回遊のイメージはメインとなる目的地を中心に一定の範囲内（概ね400m程度）のエリア。
- ・ エリアの特性を分けて検討する必要がある。

具体の施策

- ・ どうすれば公共交通で来街しやすくなるのかを考えるべき。
- ・ フリンジパーキングはぜひとも進めてもらいたい。
- ・ 来街1回当たりの消費金額は車利用者が多い一方、年間消費金額では公共交通利用者の方が多いことから、公共交通利用者にもインセンティブを与える取り組みが必要。
- ・ 回遊行動と連携した割引制度等はすぐにでもやるべき。
- ・ ラストワンマイルとして自転車や電動キックボードは重要。バス停との結節を考えても面白い。
- ・ 仙台の街の中にはトイレやベンチなどの休む場所が足りない。



本業務の目的

エリアの特性や課題を踏まえた効果的な施策を検討・実施

検討手順

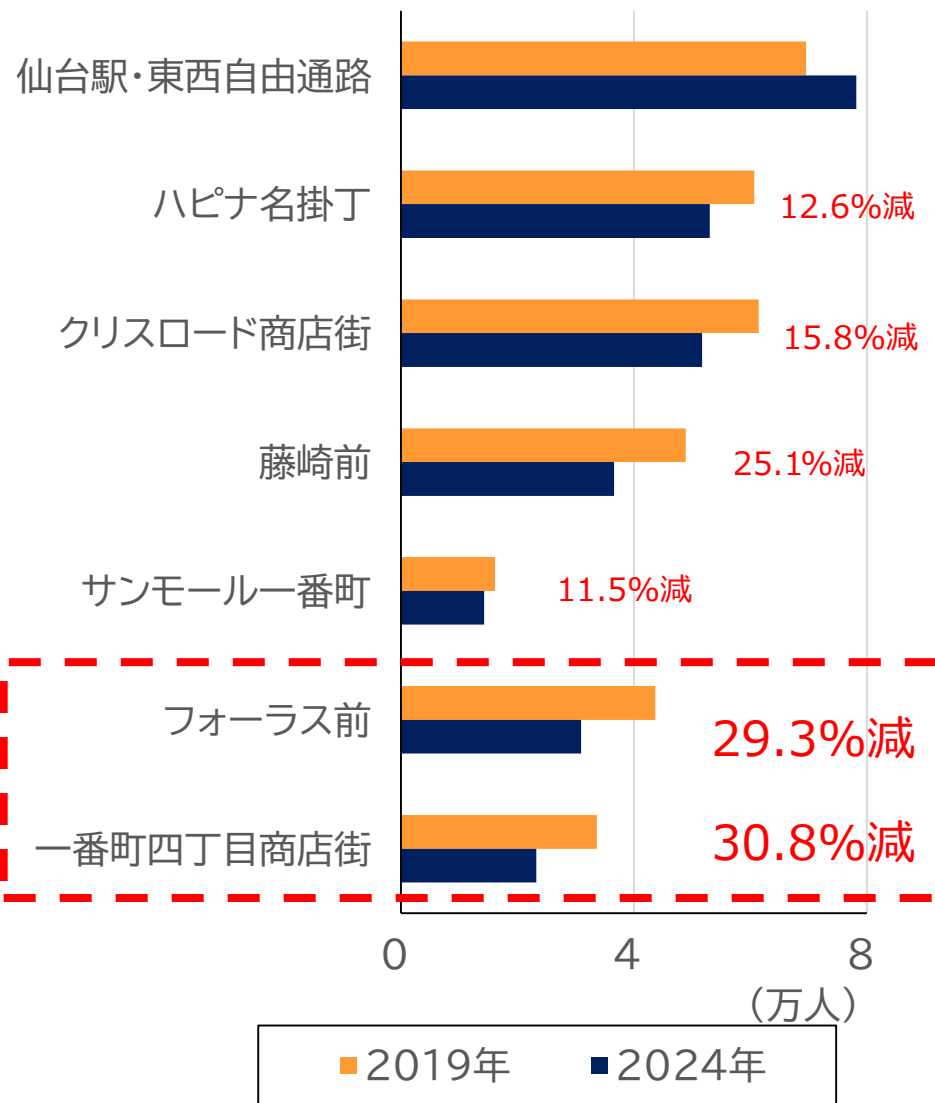
実施エリアの選定

エリアの特性

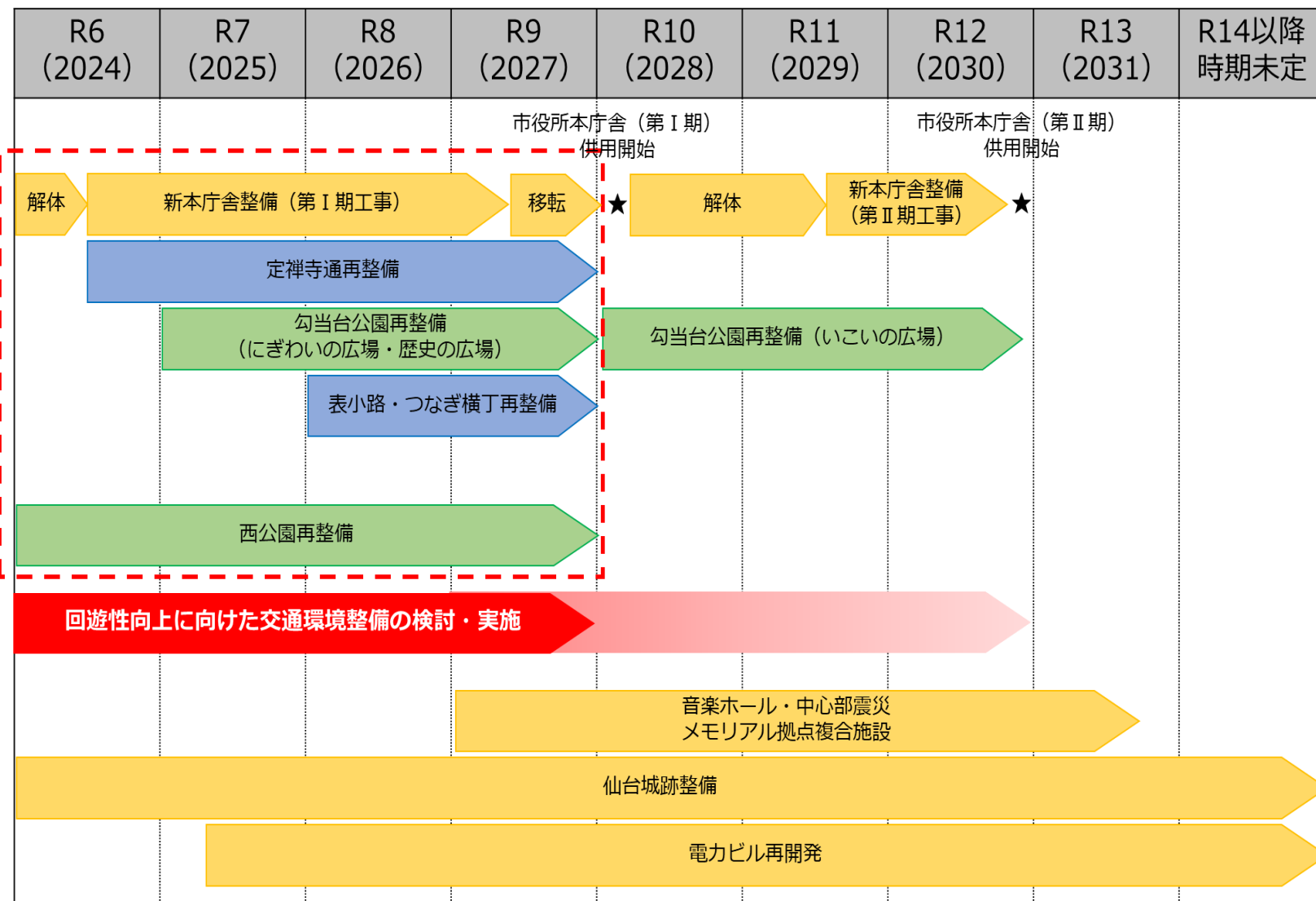
エリアの主な交通課題

今後の施策展開

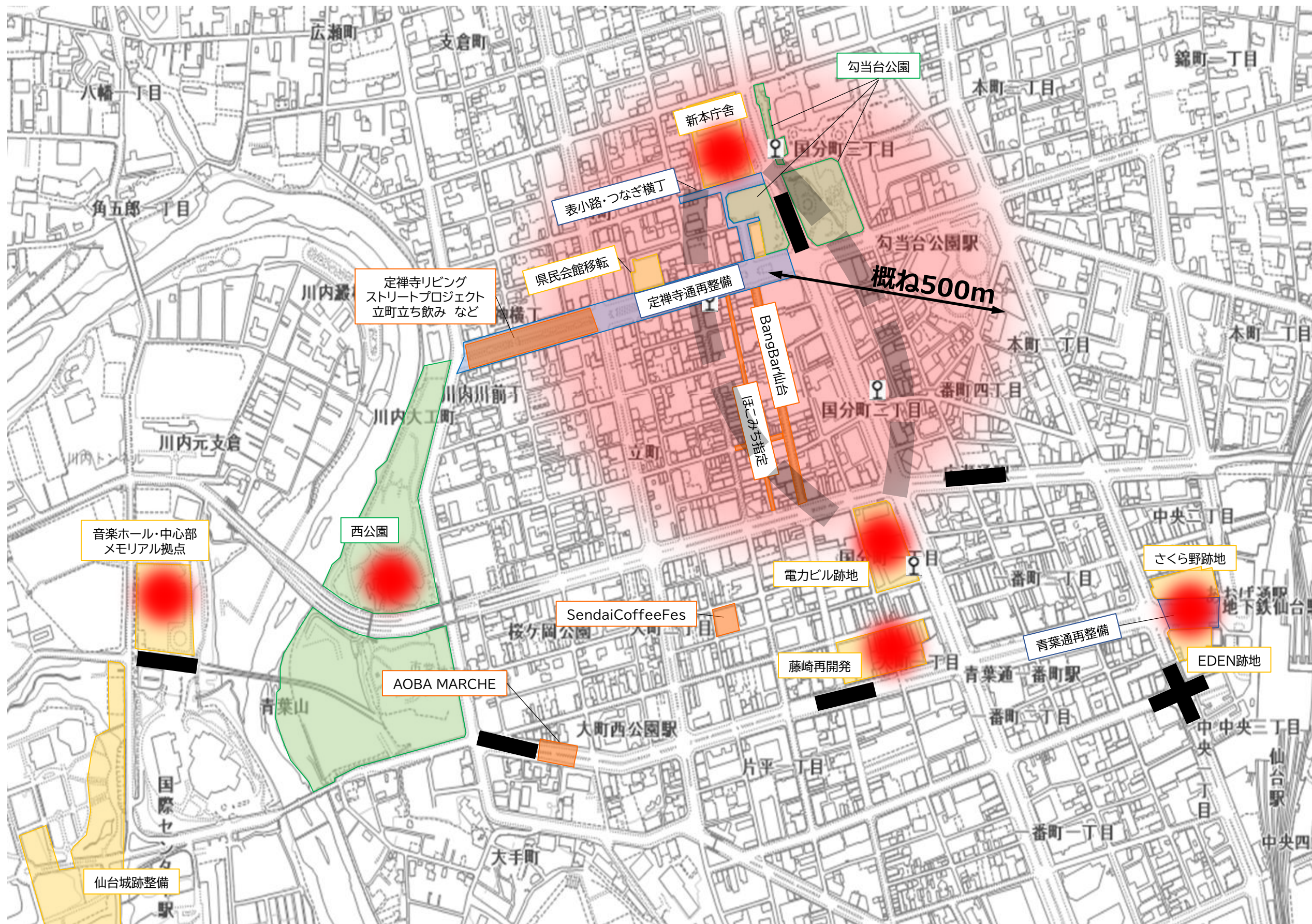
- 歩行者通行量の減少が著しいエリア
 - 回遊や賑わいの拠点としてハード整備に一定の目途があるエリア
- ⇒ 勾当台・定禅寺通・一番町エリアでの対策を早急に検討する必要がある



中心部商店街休日歩行者通行量
(コロナ前との比較)



都心における主要施策の実施スケジュール



【勾当台・定禅寺通・一番町エリア】

● 仙台を象徴する景観と文化交流・市民活動の場

- ・ 定禅寺通や市民広場、一番町などの豊かな公共空間において、多彩なイベントが開催され、日常的な賑わいと憩いを創出

● 一番町四丁目商店街

- ・ 歩行者中心の空間によって、賑わいや人の流れを創出
- ・ 国分町周辺は飲食店等が集積

● 様々な公共施設・文化施設等の再編の進行

- ・ 本庁舎の建替
- ・ 定禅寺通の再整備
- ・ 勾当台公園の再整備
- ・ 西公園の再整備
- ・ 県民会館の移転
- ・ 市民会館の老朽化
- ・ 仙台第一生命ビル建替え
- ・ 電力ビルの再開発



市役所新庁舎イメージ
(仙台市HPより)



定禅寺通再整備イメージ
(仙台市HPより)



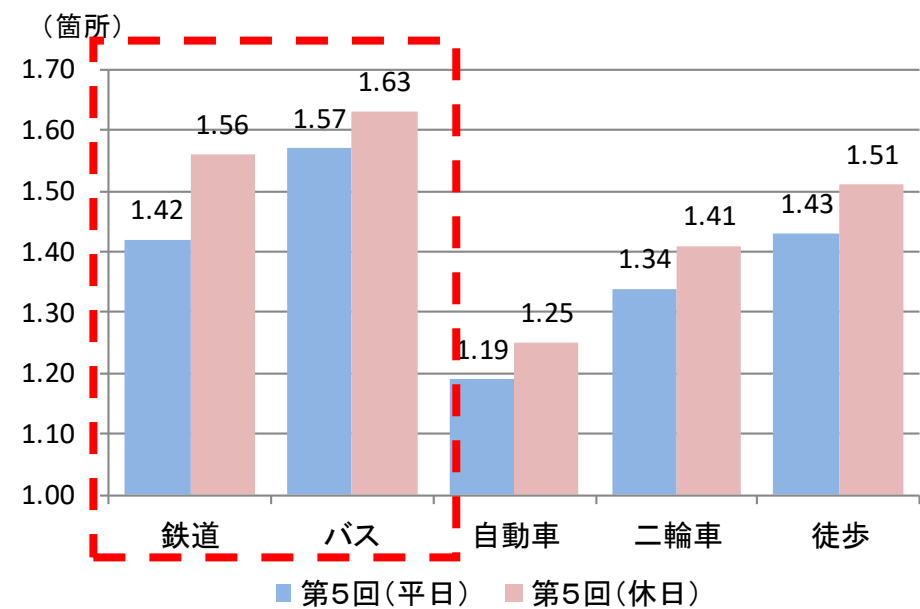
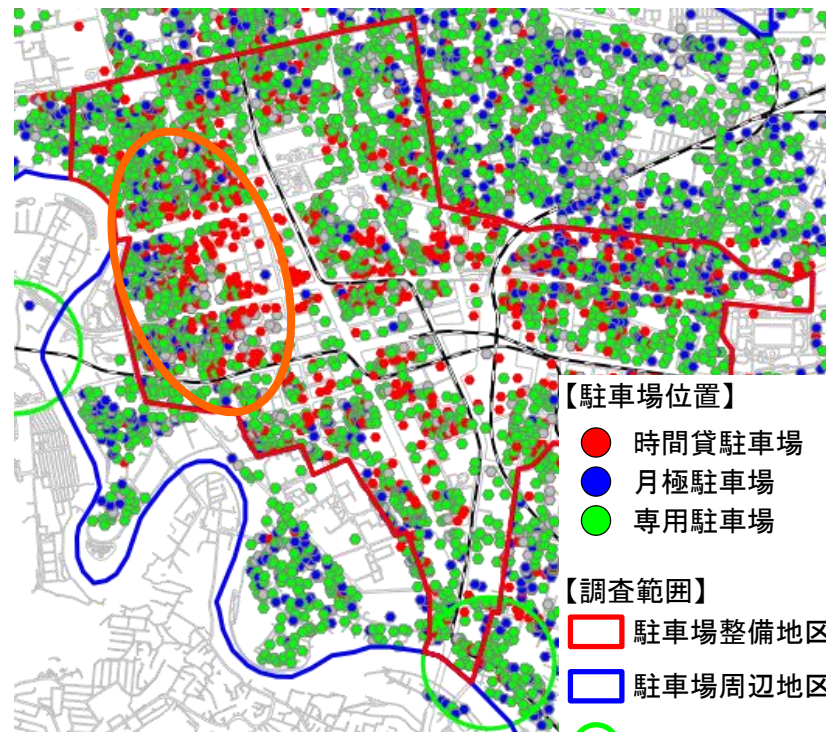
仙台第一生命ビルイメージ
(第一生命(株)HPより)

【勾当台・定禅寺・一番町エリア】

- ・ 杜の都仙台を象徴する定禅寺通などへのより分かりやすいアクセス方法など、エリアに至るまでの案内の改善が必要
- ・ このエリアに停車する周遊バスのルート工夫が必要
- ・ 地下鉄駅やバス停周辺から離れた目的地へ手軽に移動するモビリティが不足
- ・ 東二番丁通や勾当台通等は歩道内で歩行者と自転車の輻輳があり、安全面や歩道の快適性に課題
- ・ 定禅寺通や晩翠通の沿道などにも駐車場が広く分布⇒街並みや歩行者動線の連続性の確保が課題
- ・ 鉄道やバスで都心に来訪する人ほど都心内での立寄り箇所数が多い傾向⇒公共交通利用者への優遇策が必要



行政や交通事業者、民間など多様な主体による施策を連携

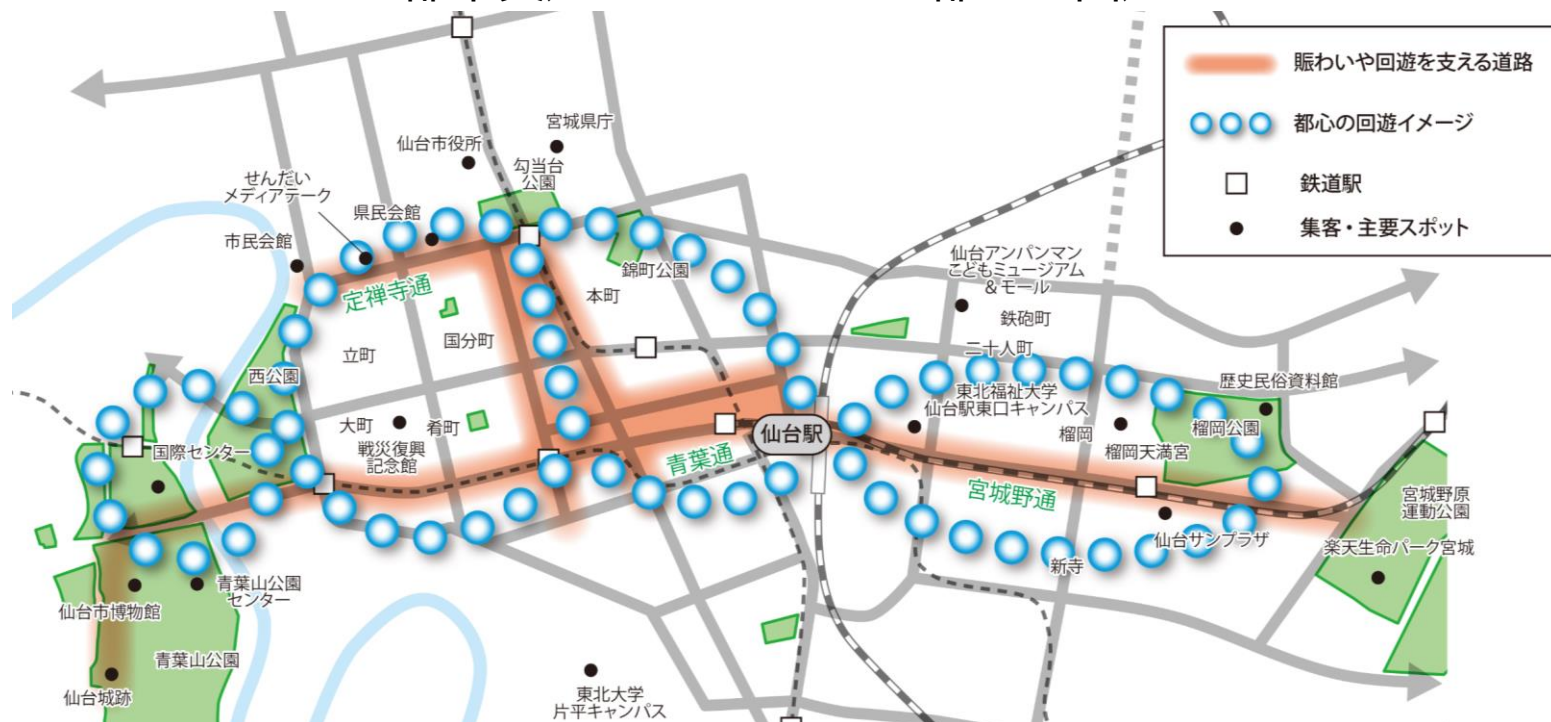


都心来訪手段別の都心内平均立ち寄り箇所数【私事目的】
第5回仙台都市圏パーソントリップ調査

都心部のDATEBIKEポートマップ（2020.4時点）
せんだい都市交通プランより抜粋

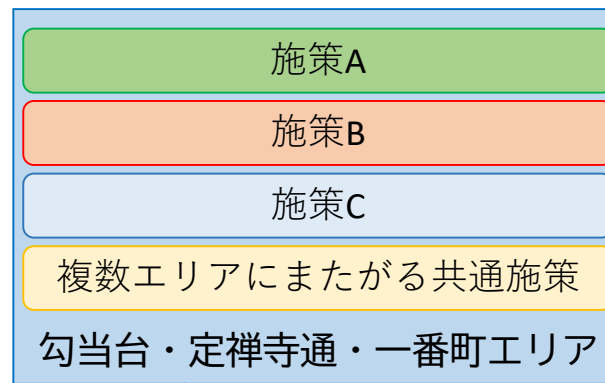
運用状況別駐車場立地状況（2017）

せんだい都市交通プランにおける都心の回遊イメージ

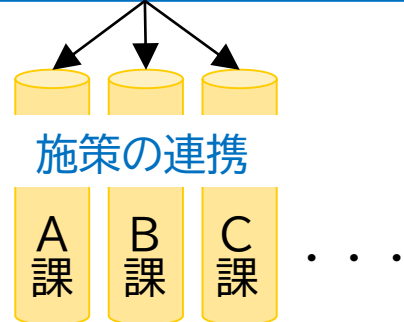


- 都心の現状（歩行者、自動車交通量の推移等）
- エリアの課題
- 上位計画を踏まえた施策の方向性、回遊イメージ
- 交通環境整備施策（各種施策と複数エリアにまたがる共通施策をパッケージ化）

(仮称)まちなか回遊パック



都心の民間再開発や市の大型プロジェクト等の進捗を踏まえながら必要に応じてエリアを拡大



今後の予定
 勾当台・定禅寺通・一番町エリアの方向性を3月にまとめることを目指し、関係部署や交通事業者などと調整を進めていく